

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
社会基礎教養 General Education on the Modern Society, Geography and History		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(公務員試験、一般教養試験(企業))	特になし。
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし。				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし。				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
川副 令		講義棟2階	初回授業で発表	授業中に指示します
授業の概要				
社会人に期待される(それゆえ就職活動で必要となる)一般常識の滋養に取り組む。歴史と地理の基礎知識を確認する。最新のニュースに触れながら、現代日本の政治や経済の動向を理解する上で必須の事柄について学ぶ。受講生は、時事問題に注意を払うようになり、重要問題について自分なりに説明できるようになる。				
授業の目標				
(1)日本の地理並びに日本史に関する重要事項を説明できるようにする。(2)現代日本とそれを取り巻く国際関係上の主要な出来事に関する新聞記事を読む機会を与え、その要点を整理できるようにする。(3)市場経済における需供と価格の関係、国民経済の概念、市場経済における財政・税制の機能、中央銀行金融政策の機能等に関する、基本的な語彙を身につけさせ、適切に使用できるようにする。				
授業の方法				
初回授業で参考資料一式を配布し、それに基づいて授業を行う。「新聞一面見出し表」を配布し、毎日トップニュースを記録させる。地理・歴史・政治経済とも基礎的な内容のみを扱う。毎回の授業後に要点確認のクイズを取り入れ、理解度をチェックする。				
学習の成果(学習成果)				
日本の地理と歴史の基礎知識を習得し、自分なりの簡易年表や概念地図を作成できる。政治や経済に関する基本的な概念を身につけ、時事問題に関する報道の要点を素早く正確に把握できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(授業計画、成績評価の説明など)			
第2回目	地理の基礎知識			
第3回目	地図(日本と世界)を描く			
第4回目	日本史(古代と中世)			
第5回目	日本史(近世)			
第6回目	日本史(近現代)			

第7回目	日本史年表を作成する	
第8回目	時事問題についてのディスカッション	
第9回目	日本の政治制度	
第10回目	国際政治史入門	
第11回目	現代国際関係の組織と制度	
第12回目	市場経済の基礎：需要供給と価格	
第13回目	景気循環、国民経済	
第14回目	財政、金融の仕組み	
第15回目	時事問題についてのディスカッション2	
事前・事後学習	事前学習：必要なし。事後学習：授業で与えられた課題、練習問題に取り組むこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	出席状況に加えて、質疑応答への参加、確認クイズの回答を総合的に評価する。
レポート		
調査報告書	30%	「新聞一面見出し表」の完成度を評価する。
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他	40%	授業で作成した日本地図（概念図）が国土の特徴をうまく捉えているか、日本史年表が歴史の流れを把握できているか、を評価する。各20%。
教科書と参考図書		
教科書は使用せず、事前に配布した参考資料（参考文献リストを含む）に基づいて授業を進める。時事問題について追加資料を配ることがある。公務員試験受験を考えている受講生は、受験参考書類を併用すると、学習効果を高めることができる。		
履修上の留意点・ルール		
初回授業で説明する。		